殺虫剤
クロチアニジン粒剤

ダントツ®粒剤

農林水産省登録　第２０８００号
（住友化学（株）登録）
性状：類白色細粒
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物： 非該当
有効年限：５年
包装：１kg×１２，３kg×６

有効成分：クロチアニジン・・・・・0.５０％

殺虫剤分類　４Ａ

ダントツ®は住友化学（株）の登録商標です。

特長
○浸透移行性優れ、カメムシ目、ハエ目、コウチュウ目、チョウ目、バッタ目、アザミウマ目の各種害虫に高い防除効果を発揮します。
○野菜・花・類のアブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類等の吸汁性害虫に加えて難防除害虫であるマメハモグリバエ等 のハモグリバエ類に対して高い防除効果を示します。
○浸透移行性に優れ、定植時の植穴処理、又は生育期の株元処理で高い防除効果を発揮し、その効果は長期間持続します。
○有機リン系、カーバメート系、合成ピレスロイド系薬剤に対する感受性が低下した害虫にも高い効果を示します。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ	３kg／１０ａ	収穫７日前まで	３回以内	散布	４回以内（直播でのは種時又は移植時までの処理は１回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計３回以内）
	カメムシ類	３～４kg／１０ａ				
稲(箱育苗)	イネミズゾウムシ	育苗箱（３０×６０×３cm、使用土壌約５ℓ）１箱当り５０ｇ	移植３日前～移植当日	１回	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	４回以内（移植時までの処理は１回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計３回以内）
		高密度には種する場合は１kg／１０ａ(育苗箱（３０×６０×３cm、使用土壌約５ℓ）１箱当り５０～１００ｇ）				
	イネドロオイムシ	育苗箱（３０×６０×３cm、使用土壌約５ℓ）１箱当り５０ｇ				
		高密度には種する場合は１kg／１０ａ（育苗箱（３０×６０×３cm、使用土壌約５ℓ）１箱当り５０～１００ｇ）				
	イネヒメハモグリバエ	育苗箱（３０×６０×３cm、使用土壌約５ℓ）１箱当り５０ｇ				
		高密度には種する場合は１kg／１０ａ（育苗箱（３０×６０×３cm、使用土壌約５ℓ）１箱当り５０～１００ｇ）				
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	１～２ｇ／株	育苗期後半	１回	株元処理	４回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布及び定植後の株元散布は合計３回以内）
	アブラムシ類 コナジラミ類		定植時		植穴処理 土壌混和	
	ミナミキイロアザミウマ	２ｇ／株				
	アブラムシ類	１～２ｇ／株	定植後 但し、収穫前日まで	３回以内	株元散布	
メロン	アブラムシ類 コナジラミ類	１～２ｇ／株	育苗期後半	１回	株元処理	４回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布及び定植後の株元散布は合計３回以内）
			定植時		植穴処理 土壌混和	
	ミナミキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	２ｇ／株				
	アブラムシ類	１～２ｇ／株	定植後 但し、収穫前日まで	３回以内	株元散布	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
すいか	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	１～２ｇ／株	定植時	１回	植穴処理 土壌混和	４回以内（定植時の土壌混和は１回以内、散布は３回以内）
かぼちゃ にがうり	アブラムシ類	１～２ｇ／株	定植時	１回	植穴処理 土壌混和	４回以内（定植時の土壌混和は１回以内、散布は３回以内）
うり類（漬物用、ただし、とうがん、食用へちまを除く）	アブラムシ類	１～２ｇ／株	定植時	１回	植穴処理 土壌混和	１回
とうがん 食用へちま	アブラムシ類	１～２ｇ／株	定植時	１回	植穴処理 土壌混和	４回以内 （定植時までの処理は１回以内、定植後の散布は３回以内）
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	１ｇ／株	育苗期	１回	株元処理	４回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布及び定植後の株元散布は合計３回以内）
	アザミウマ類		育苗期後半			
	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 アザミウマ類	１～２ｇ／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類		定植後 但し、収穫前日まで	３回以内	株元散布	
なす	アブラムシ類 コナジラミ類	１～２ｇ／株	育苗期後半	１回	株元処理	４回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布及び定植後の株元散布は合計３回以内）
	アブラムシ類 コナジラミ類 マメハモグリバエ	１ｇ／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類	１～２ｇ／株	定植後 但し、収穫前日まで	３回以内	株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	１ｇ／株	育苗期後半	１回	株元処理	３回以内 （定植時までの処理は１回以内、散布及び定植後の株元散布は合計２回以内）
			定植時		植穴処理 土壌混和	
		１～２ｇ／株	定植後 但し、収穫前日まで	２回以内	株元散布	
キャベツ	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	０.２５ｇ／株	は種時	１回	覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。	３回以内 （定植時までの処理は１回以内、定植後の散布は２回以内）
	アブラムシ類 ネギアザミウマ	３～６kg／１０ａ			播溝処理 土壌混和	
		６kg／１０ａ	地床育苗期		株元散布	
	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ	セル成型育苗トレイ１箱またはペーパーポット１冊（３０×６０cm、使用土壌約１.５～４ℓ）当り５０ｇ	育苗期後半		セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。	
	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ ネキリムシ類	０.５ｇ／株			株元処理	
	コナガ アオムシ	２ｇ／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	１～２ｇ／株				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
はくさい	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.25g／株	は種時	1回	覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。	5回以内 （定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は2回以内、定植後の株元散布は2回以内）
	コナガ	0.5g／株	育苗期後半		株元処理	
	アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ ネキリムシ類					
	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	1～2g／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	コナガ アオムシ	2g／株	定植時			
ブロッコリー	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.25g／株	は種時	1回	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの覆土に均一に混和する。 覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内）
	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.5g／株	育苗期後半	1回	株元処理	
	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g			セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。	
	アブラムシ類	1～2g／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	2g／株				
はなっこりー	アブラムシ類	6kg／10a	定植時	1回	作条処理 土壌混和	3回以内 （定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
だいこん	アブラムシ類	3～6kg／10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和	3回以内 （定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
かぶ	アブラムシ類	6kg／10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和	4回以内 （は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）
こまつな ほうれんそう あずき えだまめ	アブラムシ類	6kg／10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和	4回以内 （は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）
しゅんぎく	アブラムシ類 ハモグリバエ類	6kg／10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和	4回以内 （は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）
だいず	アブラムシ類 フタスジヒメハムシ	6kg／10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和	4回以内 （は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）
なばな	アブラムシ類	1～2g／株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	1回
チンゲンサイ	アブラムシ類	6kg／10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和	4回以内 （は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）
			定植時		作条処理 土壌混和	
レタス	アブラムシ類	2g／株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	5回以内 （定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は2回以内、定植後の株元散布は2回以内）
		0.5g／株	育苗期後半		株元処理	
		セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g			セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	アブラムシ類	セル成型育苗トレイ１箱またはペーパーポット１冊（３０×６０cm、使用土壌約１.５～４ℓ）当り５０ｇ	育苗期後半	１回	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。	５回以内（定植時までの処理は１回以内、定植後の散布は２回以内、定植後の株元散布は２回以内）
		０.５ｇ／株			株元処理	
みずな	アブラムシ類	６kg／１０ａ	は種時	１回	播溝処理 土壌混和	４回以内（は種時の土壌混和は１回以内、散布は３回以内）
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	６kg／１０ａ	は種時	１回	作条処理 土壌混和	４回以内（定植時までの処理は１回以内）
	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ タネバエ		植付時		植溝処理 土壌混和	
	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	３～６kg／１０ａ	収穫３日前まで	４回以内	株元散布	
	ネダニ類	６kg／１０ａ				
あさつき わけぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	３～６kg／１０ａ	収穫３日前まで	４回以内	株元散布	４回以内
らっきょう	ネギアザミウマ ネダニ類	６kg／１０ａ	収穫２１日前まで	２回以内	株元散布	２回以内
くわい	アブラムシ類	６kg／１０ａ	収穫７日前まで	３回以内	湛水散布	３回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	３～６kg／１０ａ	植付時	１回	植溝処理 土壌混和	４回以内（植付時の土壌混和は１回以内、植付後は３回以内）
かんしょ	コガネムシ類 トビイロヒョウタンゾウムシ	６～９kg／１０ａ	植付前	１回	作条処理 土壌混和	３回以内（植付前の処理は１回以内、植付後は２回以内）
	コガネムシ類				全面処理 土壌混和	
	アブラムシ類	６kg／１０ａ	育苗期		株元処理	
やまのいも	コガネムシ類	６～９kg／１０ａ	植付時	１回	作条処理 土壌混和	４回以内（植付時までの処理は１回以内、植付後は３回以内）
いちご	アブラムシ類	１ｇ／株	定植時	１回	植穴処理 土壌混和	１回
セルリー	アブラムシ類	２ｇ／株	定植時	１回	植穴処理 土壌混和	４回以内（定植時の土壌混和は１回以内、散布は３回以内）
れんこん	クワイクビレアブラムシ	３kg／１０ａ	植付時	１回	植溝処理 土壌混和	４回以内（植付時までの処理は１回以内、植付後は３回以内）
		４～６kg／１０ａ	収穫７日前まで	３回以内	湛水散布	
					無人航空機による散布	
じゅんさい	トラフユスリカ	４kg／１０ａ	収穫前日まで	２回以内	湛水散布	２回以内
さとうきび	ハリガネムシ類	４～６kg／１０ａ	植付時	１回	植溝処理 土壌混和	７回以内（植付時までの処理は１回以内、植付後の粒剤の処理は３回以内、水和剤の処理は３回以内）
	メイチュウ類 アオドウガネ	６～９kg／１０ａ	植付時			
	カンシャコバネナガカメムシ シロスジオサゾウムシ		培土時	３回以内	株元処理 土壌混和	
	カンシャコバネナガカメムシ カンシャワタアブラムシ		収穫３０日前まで		株元散布	
	メイチュウ類					
かんきつ （苗木）	ミカンハモグリガ	１０～２０ｇ／樹	育苗期	３回以内	株元散布	３回以内
樹木類 （げっきつを除く）	コガネムシ類	６～９kg／１０ａ	生育期	５回以内	株元散布	６回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
げっきつ	ミカンキジラミ	３０～４０ｇ／株	発生初期	６回以内	生育期株元散布	６回以内
	コガネムシ類	６～９kg／１０ａ	生育期	５回以内	株元散布	
きく	アブラムシ類	６kg／１０ａ	発生初期	４回以内	生育期株元散布	４回以内
		１～２ｇ／株				
	マメハモグリバエ アザミウマ類	２ｇ／株				
花き類・観葉植物（きくを除く）	アブラムシ類	６kg／１０ａ	発生初期	４回以内	生育期株元散布	４回以内
		１～２ｇ／株				
	アザミウマ類	２ｇ／株				

使用上の注意事項

●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
　〇散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
　〇散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
　〇事前に本剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
　〇本剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該圃場周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整してください。
　〇水源池、飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意してください。
●本剤を水稲の本田に使用する場合、３cm前後の湛水とし、田面に均一に散布し散布後４～５日間は湛水状態を保ち、散布後７日間は落水、かけ流しはしないでください。
●本剤をくわい、れんこん、じゅんさいに使用する場合、田面に均一に散布し散布後４～５日間は湛水状態を保ち、散布後７日間は落水、かけ流しはしないでください。
●稲（箱育苗）に使用する場合は次の注意を守ってください。
　〇育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、そのまま田植機にかけて移植してください。
　〇軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
　〇誤って過剰に使用したり、本剤使用後４日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、 所定の使用量、使用時期、 使用方法を守ってください。
　〇本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに入水し、水深２～３cm程度を保ち、浅水はさけてください。
●かんきつに使用する場合は、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後軽く散水してください。
●キャベツ、はくさい、かぶ、こまつな、チンゲンサイに使用する場合は、薬害が生じるおそれがあるので使用量を厳守してください。
●キャベツ、はくさいのは種時に使用する場合は、薬害が生じる場合があるので覆土後に使用し、覆土前の使用はさけてください。
●薬剤を株単位で使用する場合には、１０ａ当り２５kgを超えないように適用の範囲内で単回使用量を調整してください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
　なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●蚕に対して影響があるので、周囲の桑葉にはかからないようにしてください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
　〇ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
　〇関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●マルハナバチを利用する場合、本剤使用後２０日目ごろより後に導入してください。ただし、影響日数は環境条件により多少変動する場合があるので注意してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域内に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。